

県立広島大学大学院総合学術研究科における大学院生の教育研究環境に関するアンケート調査報告（令和5年度実施）

実施期間 令和6年2月1日（木）～令和6年2月29日（木）

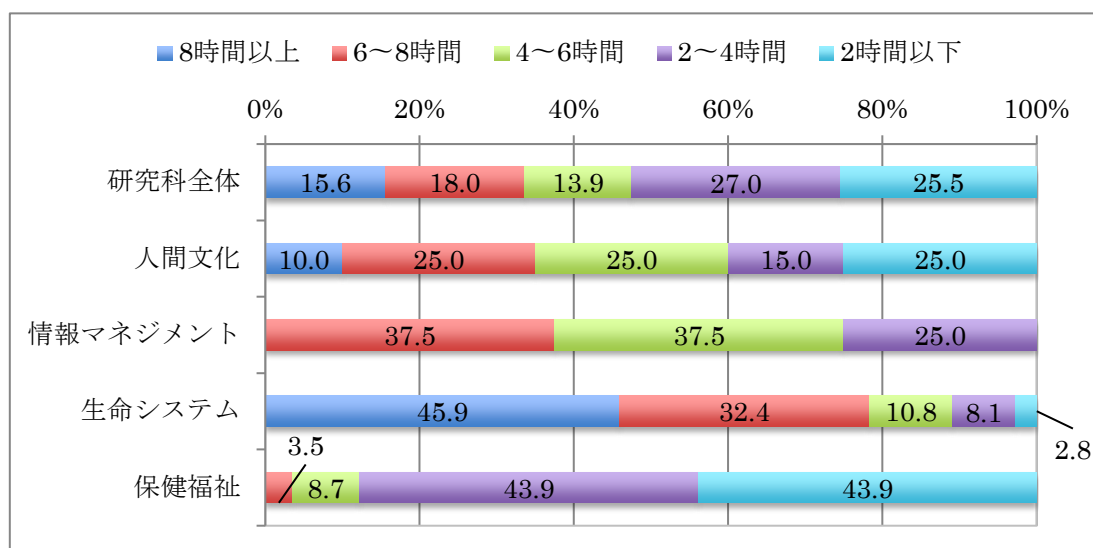
アンケート対象者：161名（人間文化学専攻 24名，情報マネジメント専攻 8名，生命システム科学専攻 57名，保健福祉学専攻 72名）

回収数：122名（人間文化学専攻 20名，情報マネジメント専攻 8名，生命システム科学専攻 37名，保健福祉学専攻 57名）

令和5年度アンケート調査では，総計122名（75.8%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，人間文化学専攻 83.3%，情報マネジメント専攻 100%，生命システム科学専攻 64.9%，保健福祉学専攻 79.2%であった。

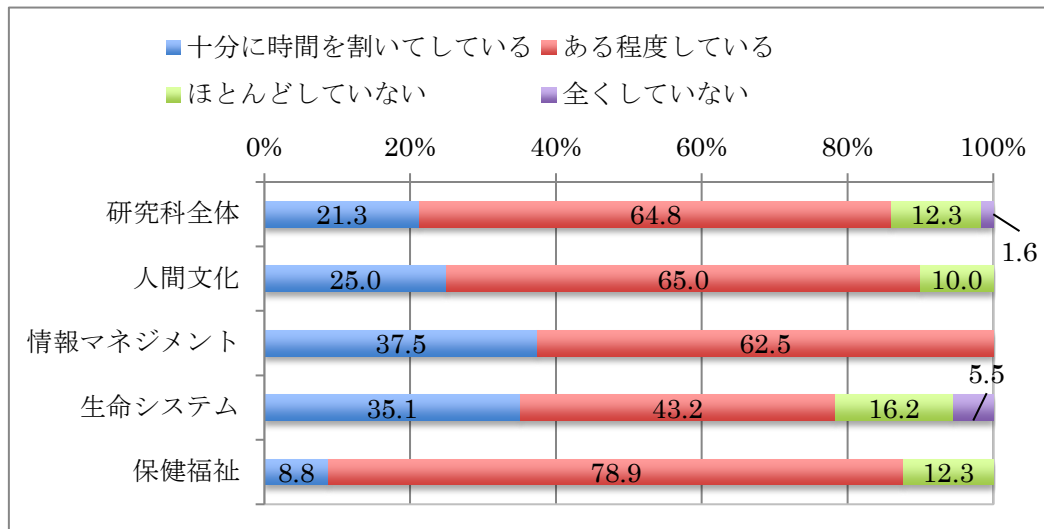
【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたが学修や研究に充てる1日あたりの時間。



1日の学修や研究に充てる1日あたりの時間については，専攻の特性により分布が異なっている。保健福祉学専攻など社会人の多い専攻では，1日あたりの学習や研究にあてる時間が少なくなっているが，長期履修制度の活用により，計画的に教育課程を履修し，研究時間を確保している。

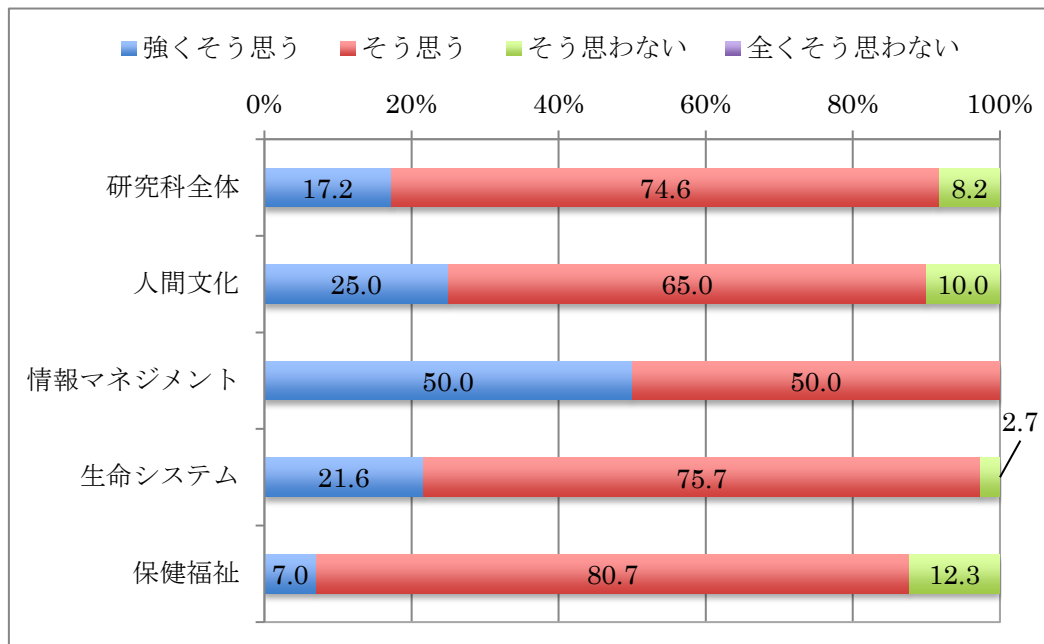
2. 履修している授業のために、授業外学修（課題，準備，復習等）をしている。



研究科全体で肯定的な回答は86.1%であった。

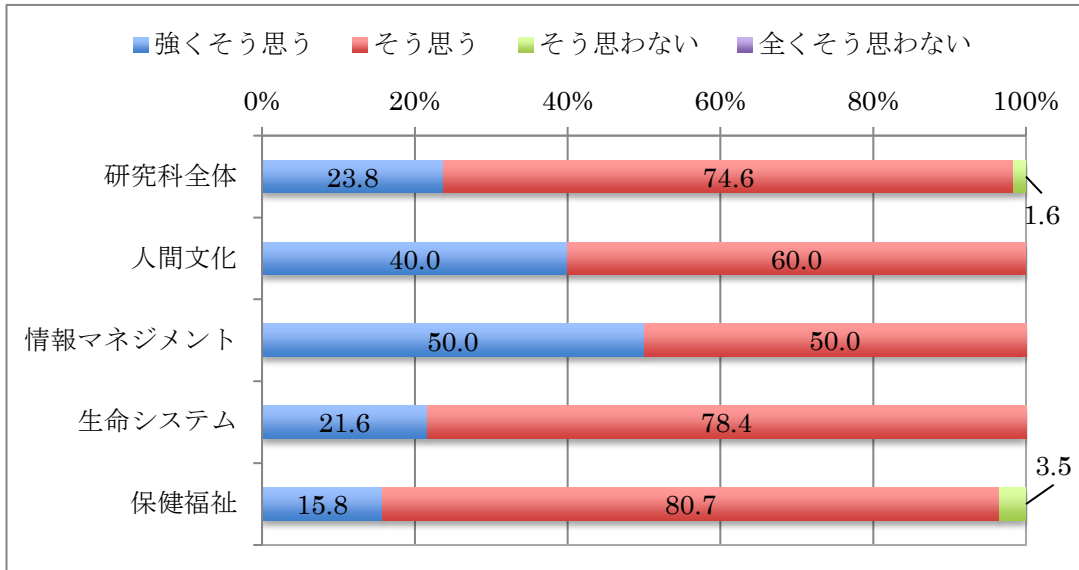
いずれの専攻も約80%以上の学生が「十分に時間を割いている」「ある程度している」と回答しており、意欲的に取り組んでいることがうかがえる。

3. あなたが履修した、又は履修している授業は、目標が明確で体系的に行われている。



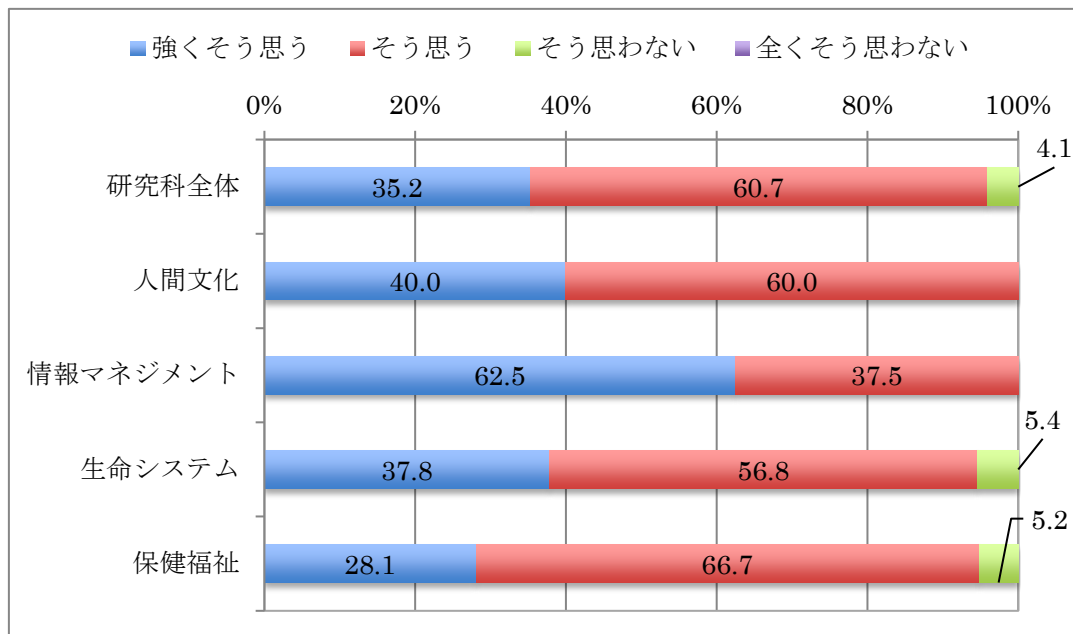
研究科全体で、「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合は91.8%であり、授業の目標は明確で、体系的と感じている。

4. 教員の授業に対する準備は十分で、内容がよく整理されている。



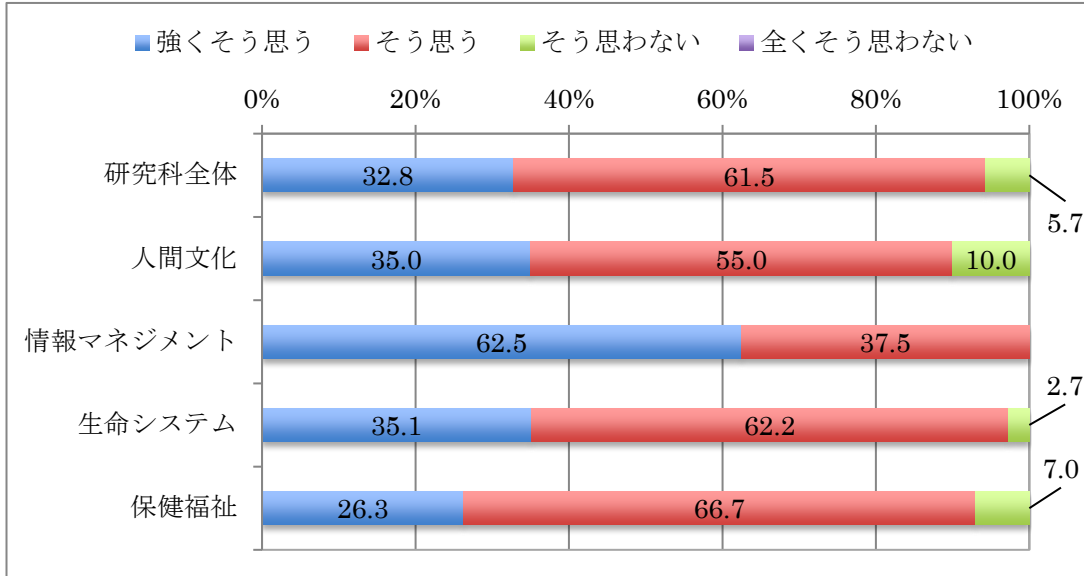
いずれの専攻でも肯定的な回答はおおむね95%以上となっており、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると回答している。

5. 教員の研究内容や専門領域が伝わる良い授業が行われている。



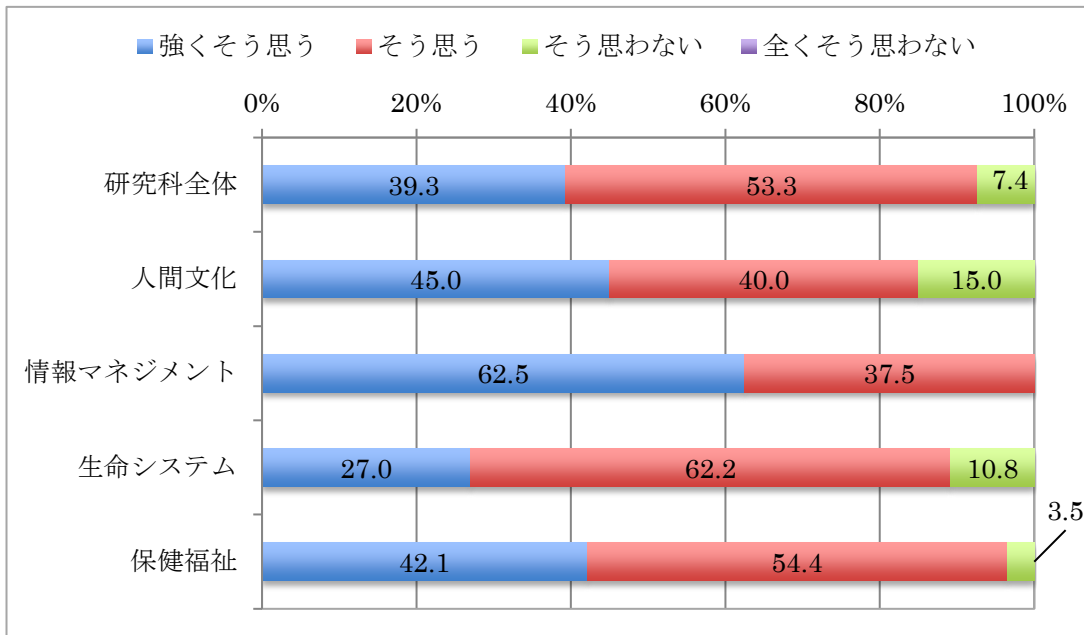
いずれの専攻でも肯定的な回答は90%以上となっており、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。

6. 授業内容は大学院の授業として適切に行われている。



いずれの専攻でも、肯定的な回答多く、おおむね 90%以上が授業内容は適切であると回答している。

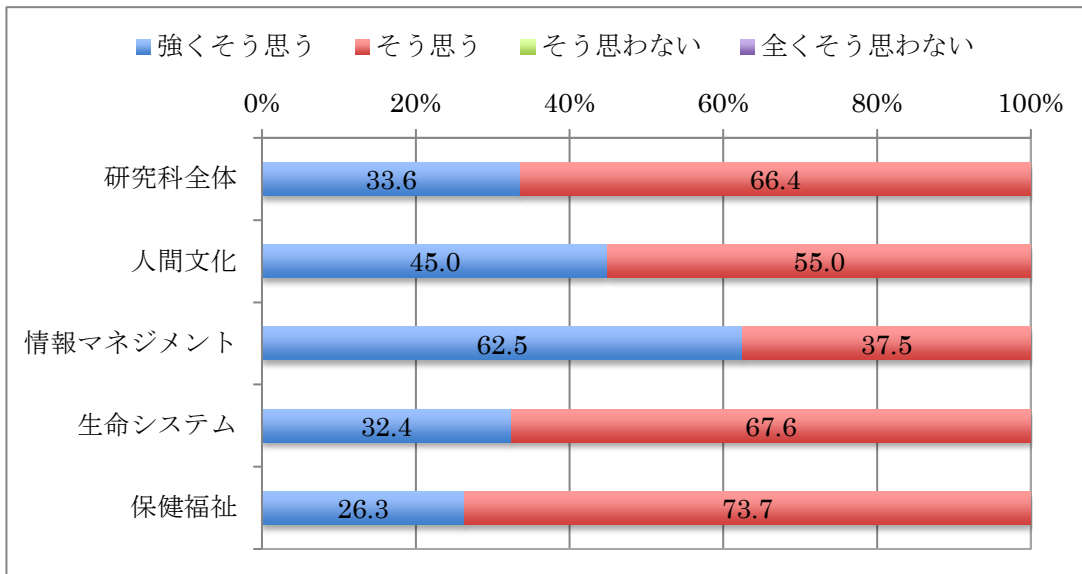
7. 授業に関し、教員の熱意が感じられる。



研究科全体では、教員の熱意が感じられるかという質問に対して 92.6%が「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。

【成績評価に関する質問】

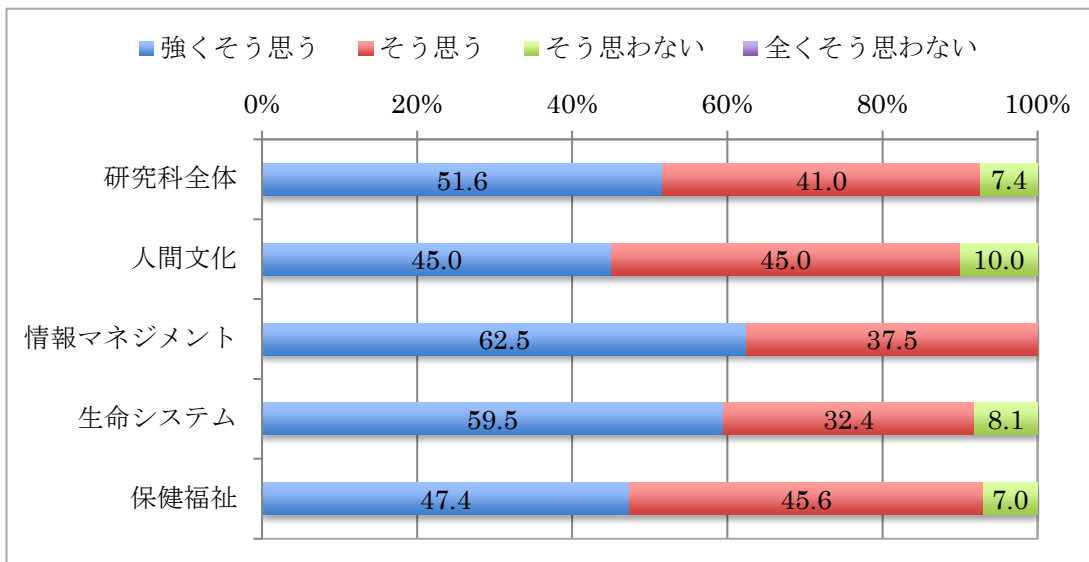
8. 授業の成績評価は適切に行われている。



研究科全体では、肯定的な回答は100%であった。

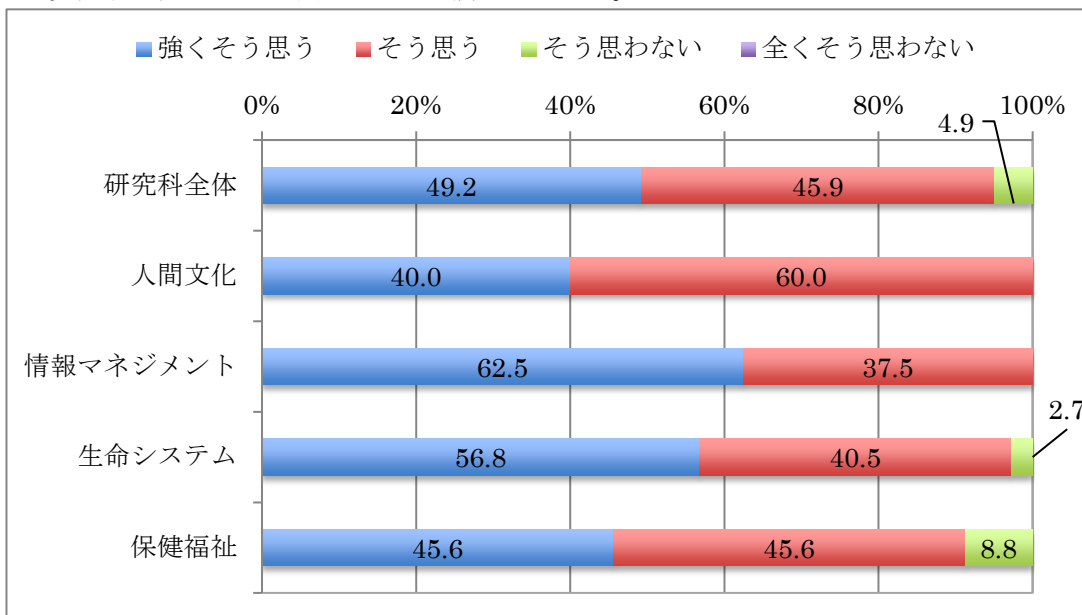
【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている。



研究科全体では、90%以上が満足しており、研究指導は適切に行われている。

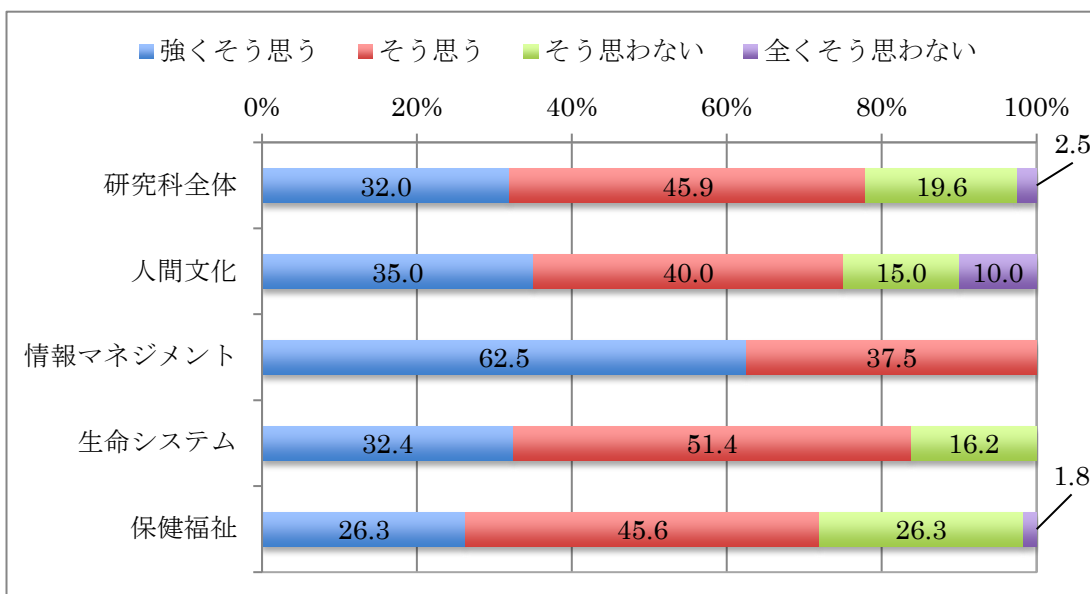
10. 現在取り組んでいる研究テーマに満足している。



研究科全体では、90%以上の学生が研究テーマに満足している。

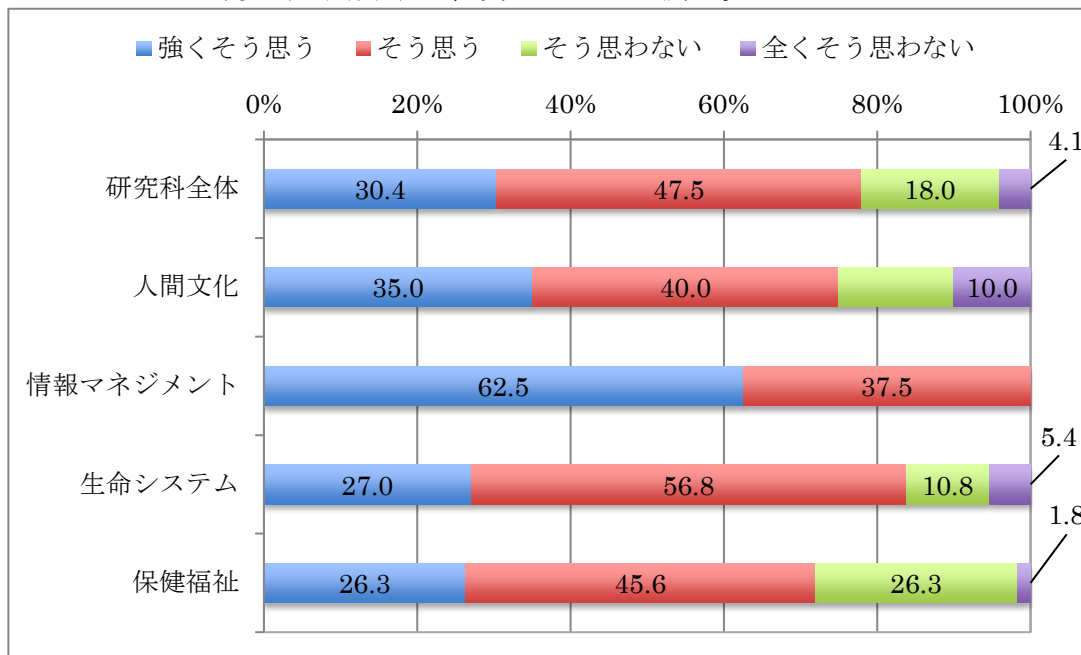
【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境（実験室）は、質・量ともに良好だ。



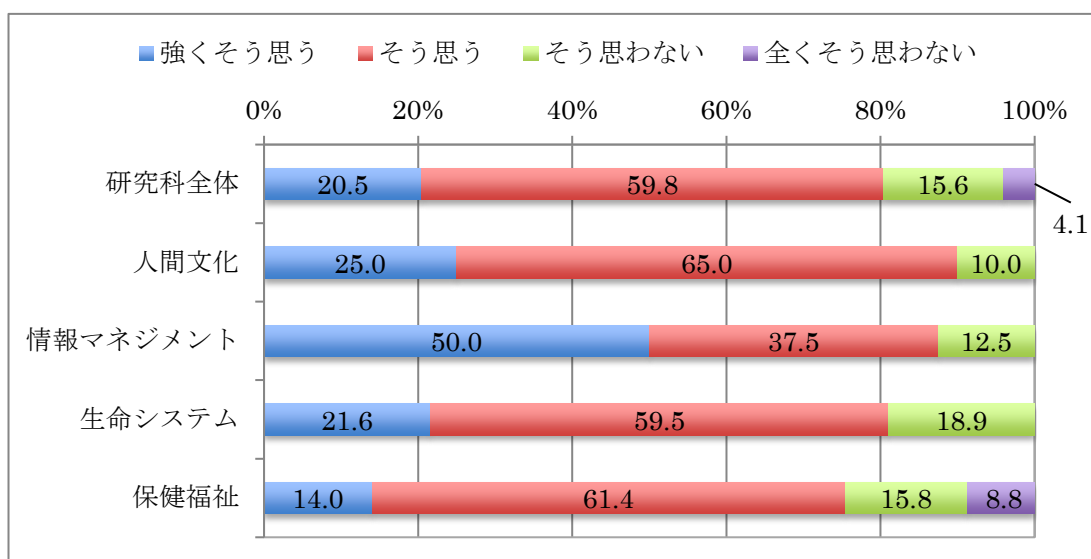
研究科全体では、肯定的な回答は77.9%である。

1 2. あなたの研究環境（実験機器）は、質・量ともに良好だ。



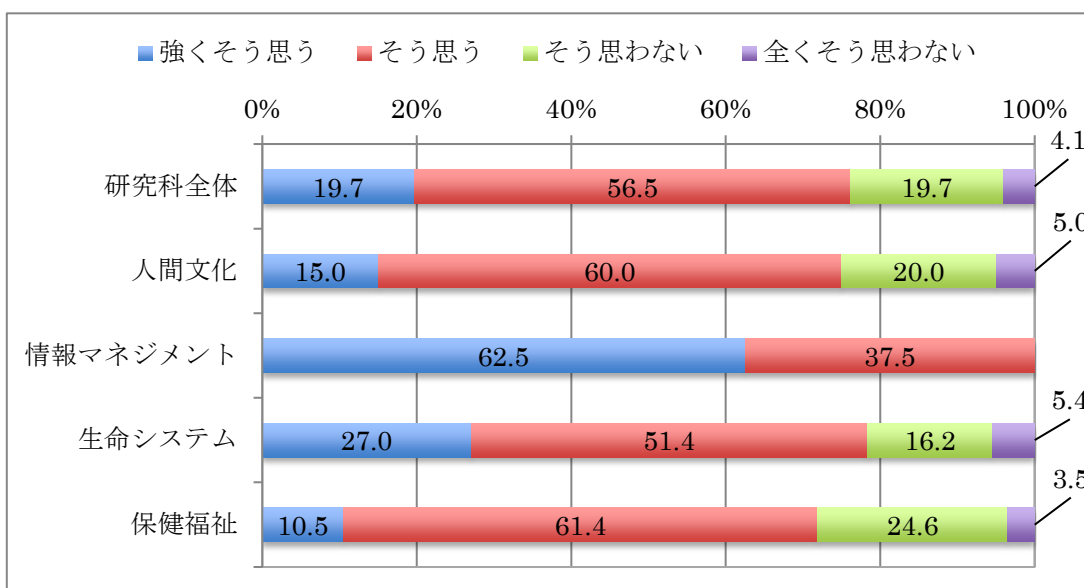
研究科全体では、肯定的な回答は77.9%ある。

1 3. あなたの研究環境（図書）は、質・量ともに良好だ。



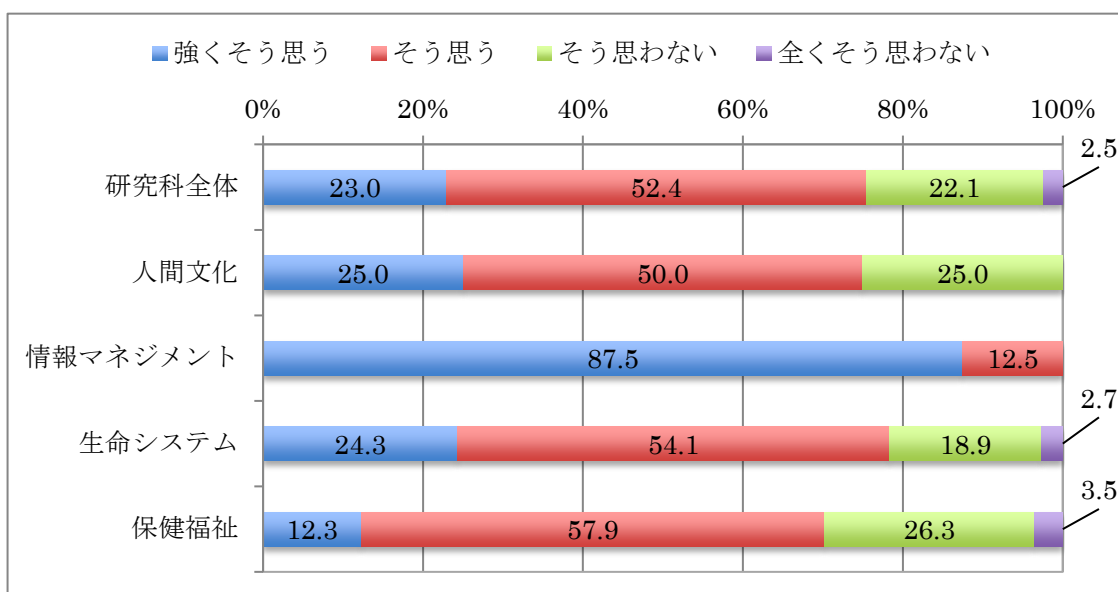
研究科全体では、肯定的な回答は80.3%であった。

1 4. あなたの研究環境（コンピューター）は、質・量ともに良好だ。



研究科全体では、肯定的な回答 76.2%である。

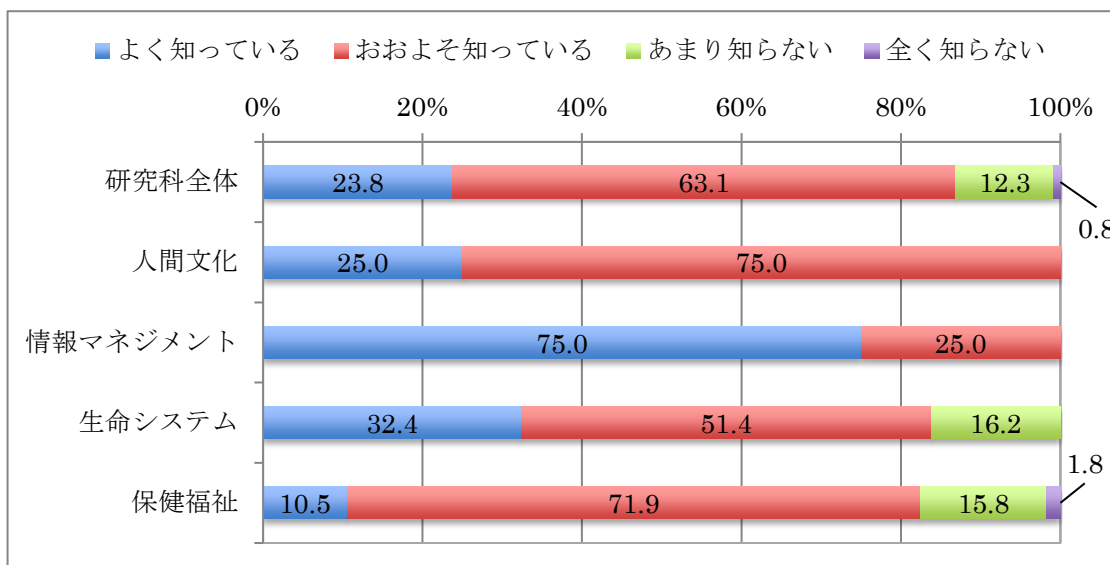
1 5. あなたが利用できる大学院生としての研究用スペースは適切だ。



研究科全体では、肯定的な回答は 75.4%である。配属学生の多い研究室については、十分なスペースを確保できない場合があることが課題となっており、検討を行う必要がある。

【学位取得に関する理解に関する質問】

16. あなたは在籍する課程において、学位を取得するためにはどのような前提条件を満たさなければならぬか、研究科や専攻の規則や規程を知っている。

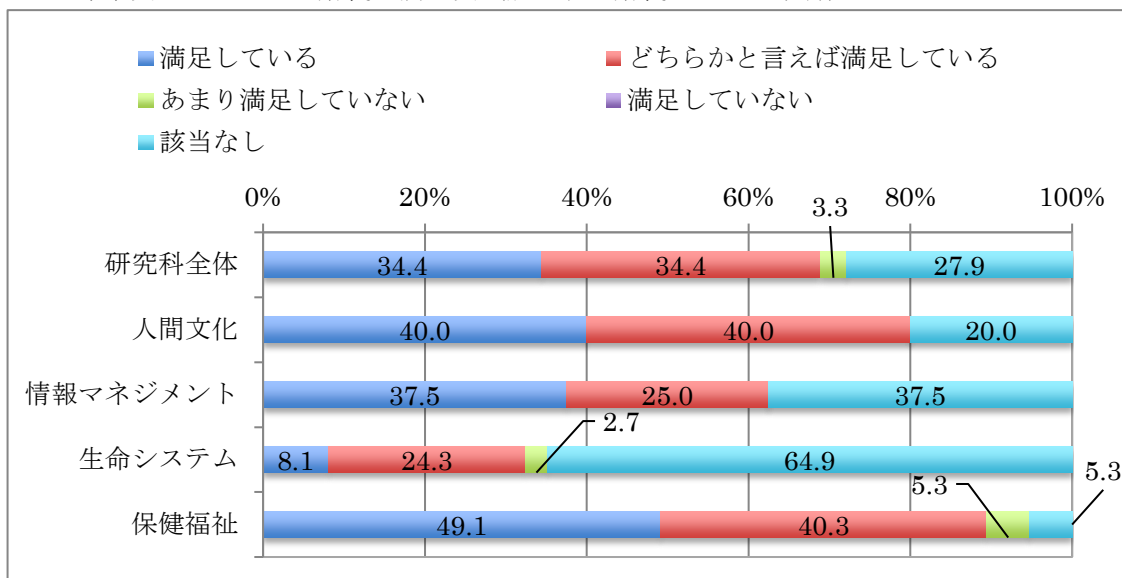


研究科全体では、肯定的な回答は86.9%であり概ね周知はされている。

各専攻における「学位論文審査及び最終試験実施要領」及び「学位論文に係る評価基準」については、本学ウェブサイトに公開している。

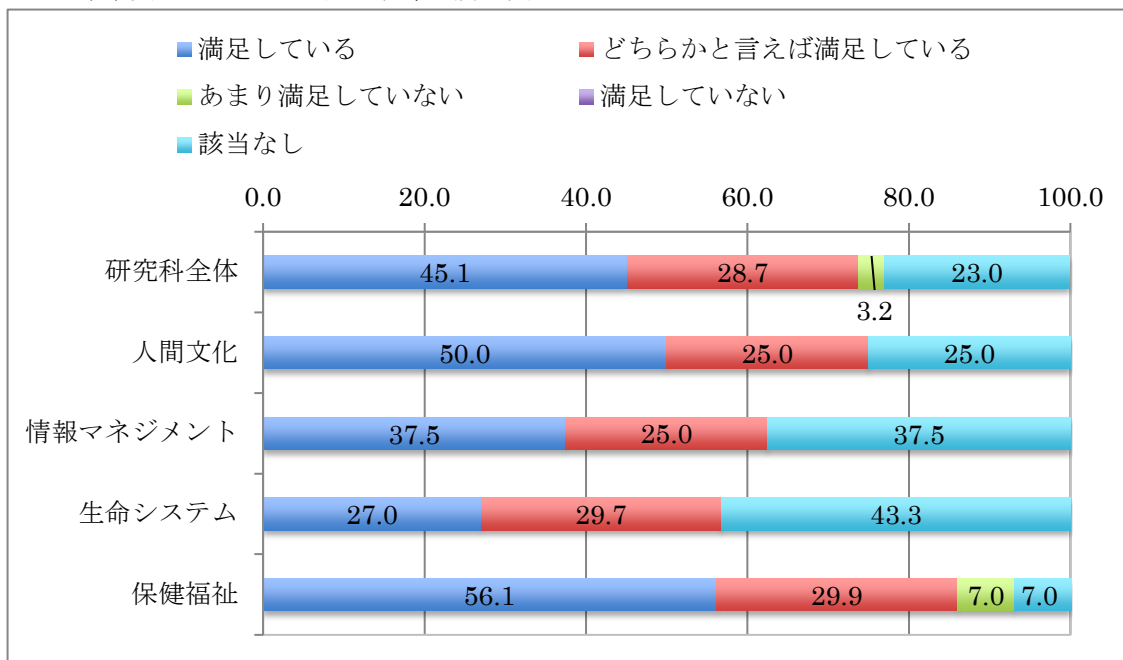
【オンライン講義の満足度】

17. 今年度のオンライン講義の満足度（該当する講義があった場合）



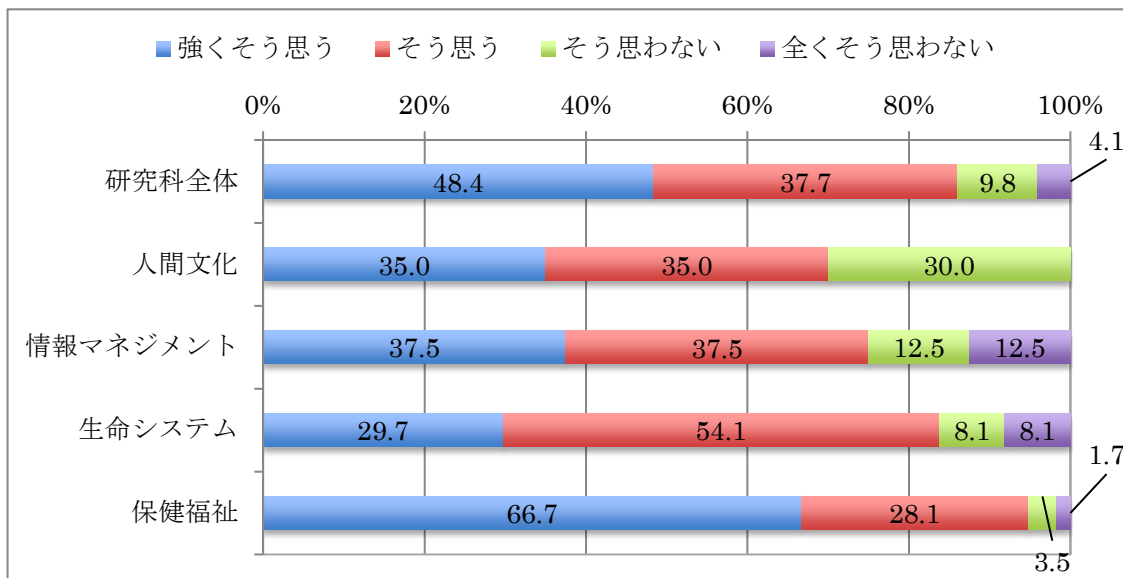
研究科全体では、肯定的な意見が68.8%（該当なしは27.9%）であり、概ねオンライン授業に満足している。

18. 今年度のオンライン研究指導の満足度



研究科全体では、肯定的な意見が73.8%（該当なしは23.0%）であり、概ねオンラインでの研究指導に満足している。

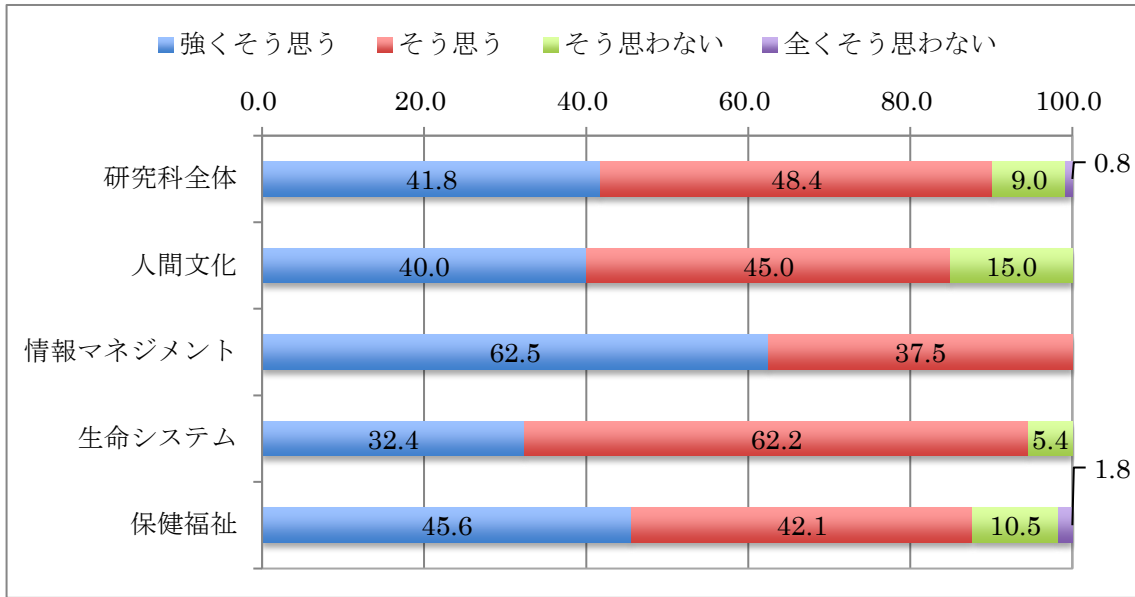
19. 次年度以降もオンライン講義・研究指導形態を取り入れてほしいですか。



研究科全体では、肯定的な意見が86.1%であった。

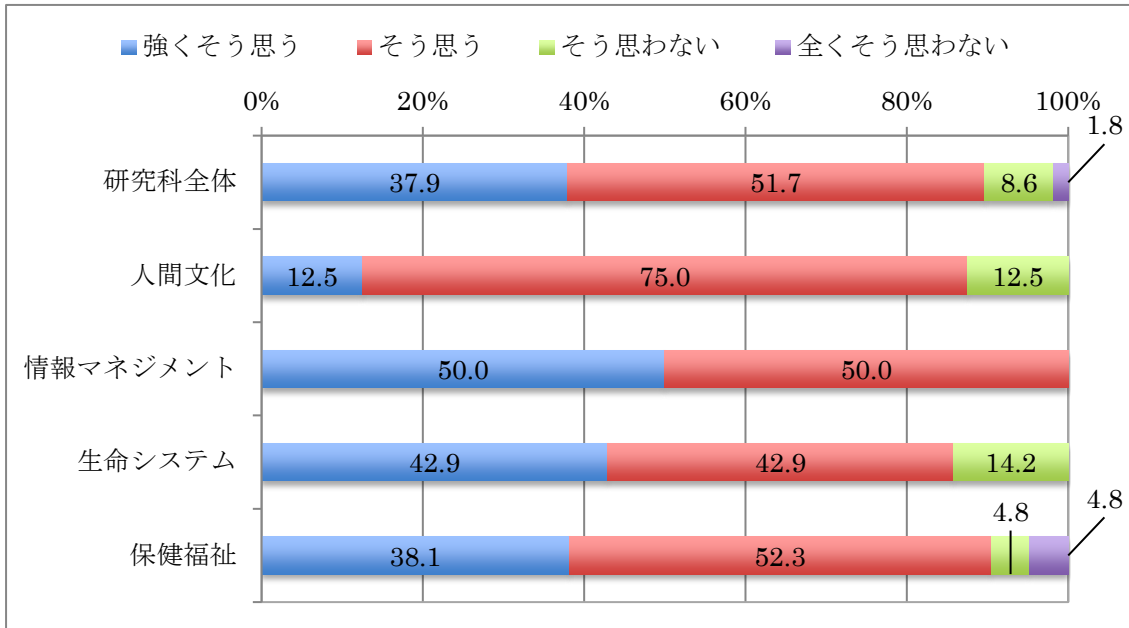
【大学院に対する満足度に関する質問】

20. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している。



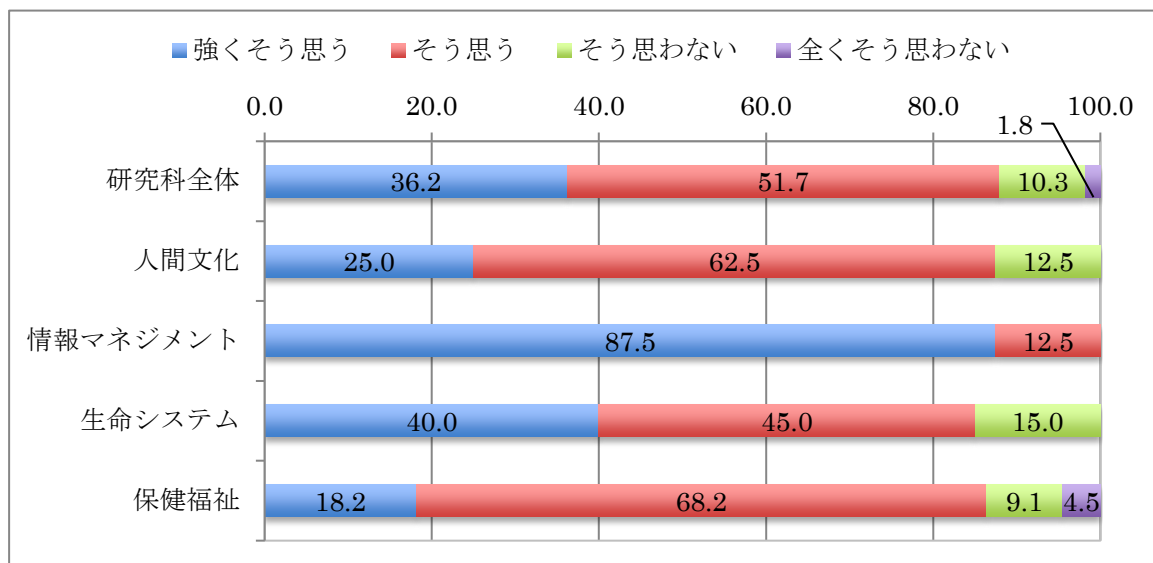
研究科全体では、肯定的な回答は 90.2%であり、専攻別でもいずれも 85.0%以上が「強くそう思う」「そう思う」に回答している。

21. 本年度修了予定の院生のみにかきます。大学院内での就職活動のサポート（ガイダンス等の案内、キャリアセンター利用、情報提供等）に満足している。



研究科全体では、肯定的な回答は 89.6%であり、修了生においても概ね満足している。

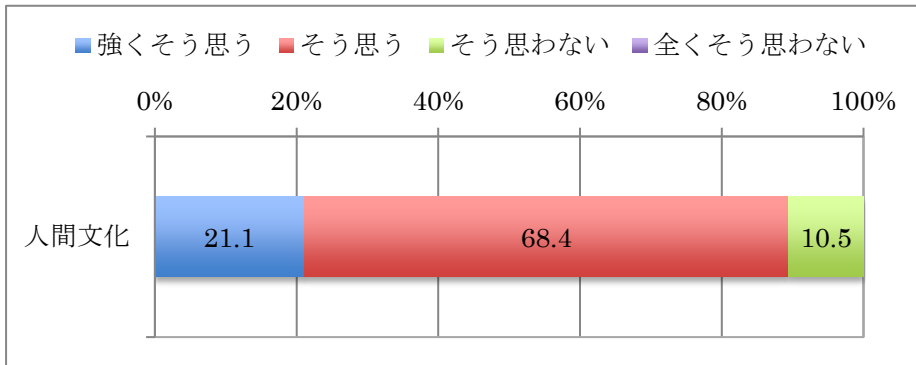
2.2. 本年度に修了予定の院生に聞きます。内定した就職先については満足している。



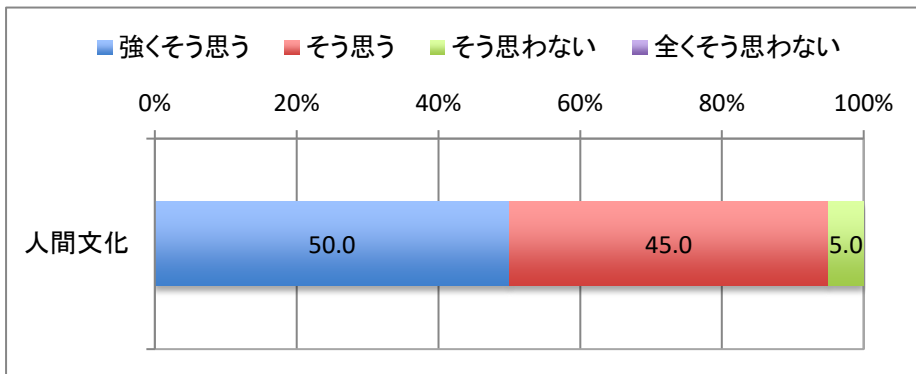
研究科全体では、87.9%が肯定的な回答である。情報マネジメント専攻以外では、10%以上の学生が「そう思わない」「全くそう思わない」と回答している。

【人間文化学専攻独自の設問】

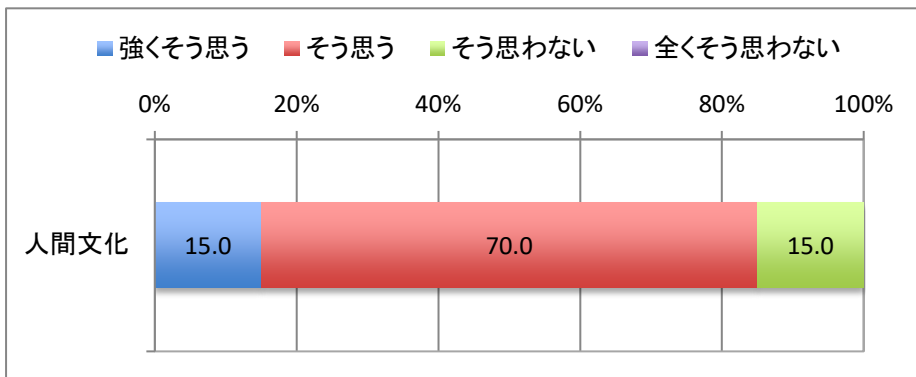
1. 大学院生に対する支援事業（TA/RA、研究活動支援）に満足している。



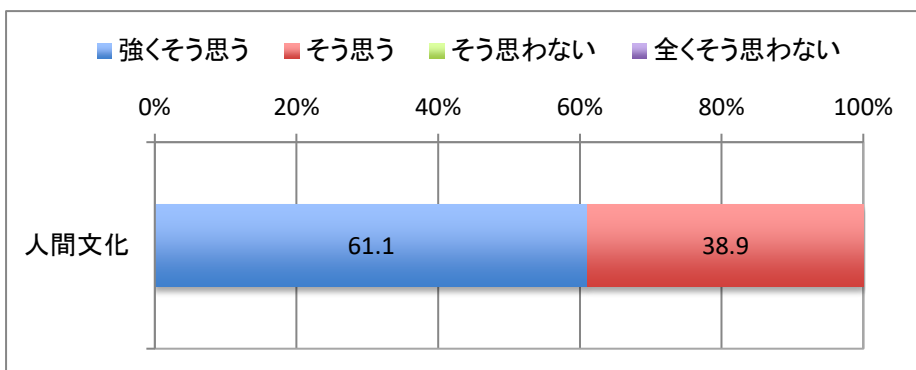
2. 授業の履修状況は、当初の計画通りである。



3. 研究の進捗状況は、当初の計画通りである。

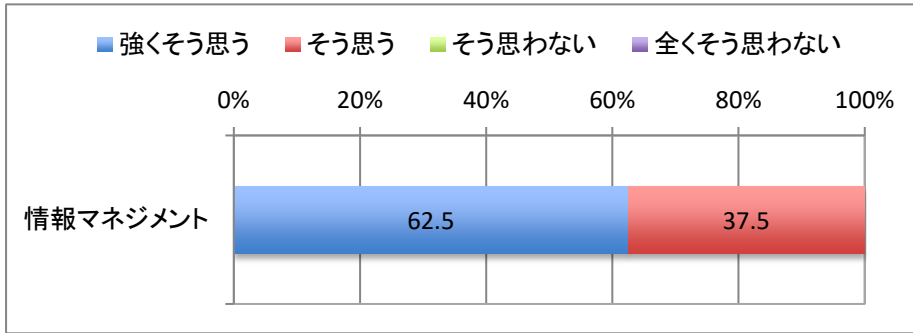


4. 教員は学生の個別の状況に配慮して指導している。

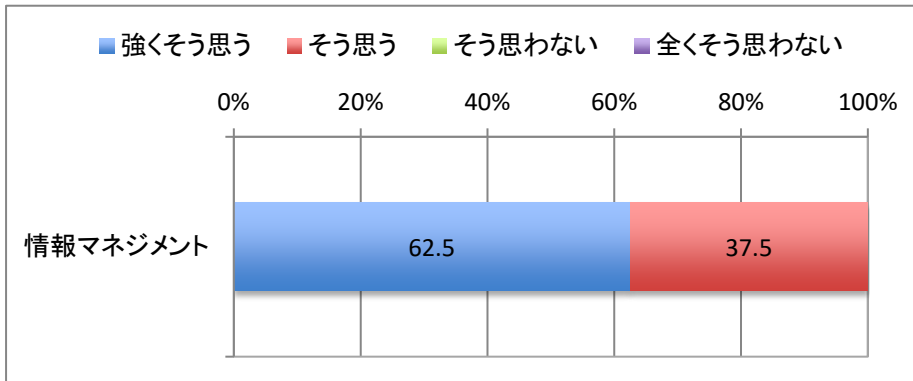


【情報マネジメント専攻独自の設問】

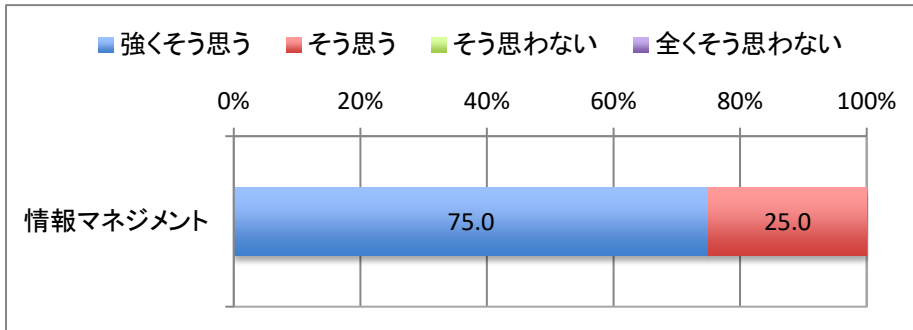
1. 研究は計画通りに進んでいる。



2. 修士論文研究中間発表会の1人当たり持ち時間（発表と質疑応答で15分程度）は適切である。

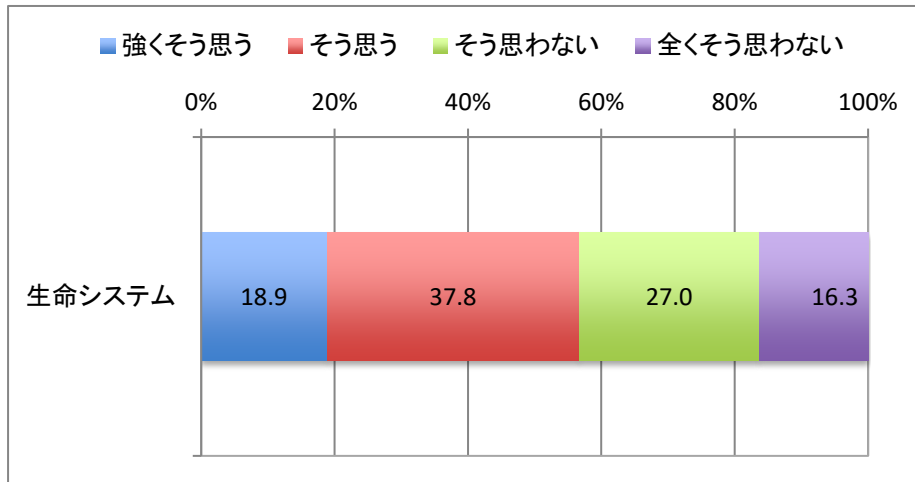


3. あなたの研究室の通信環境は、質・量ともに良好である。

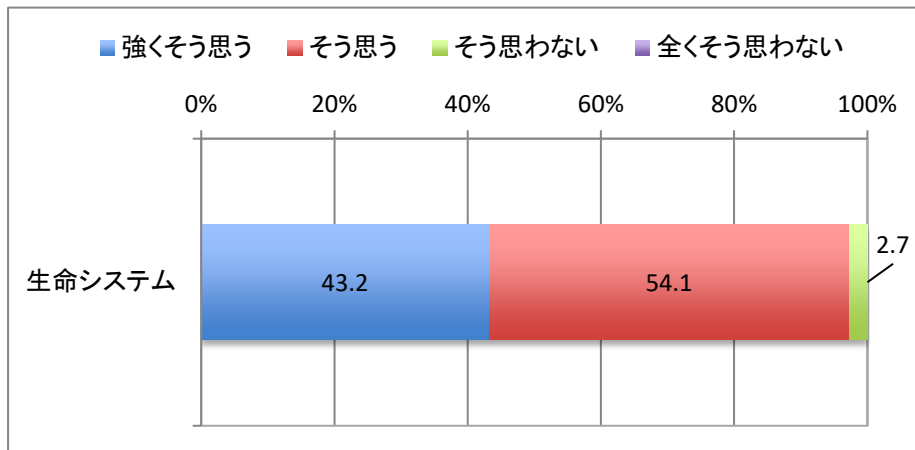


【生命システム科学専攻独自の設問】

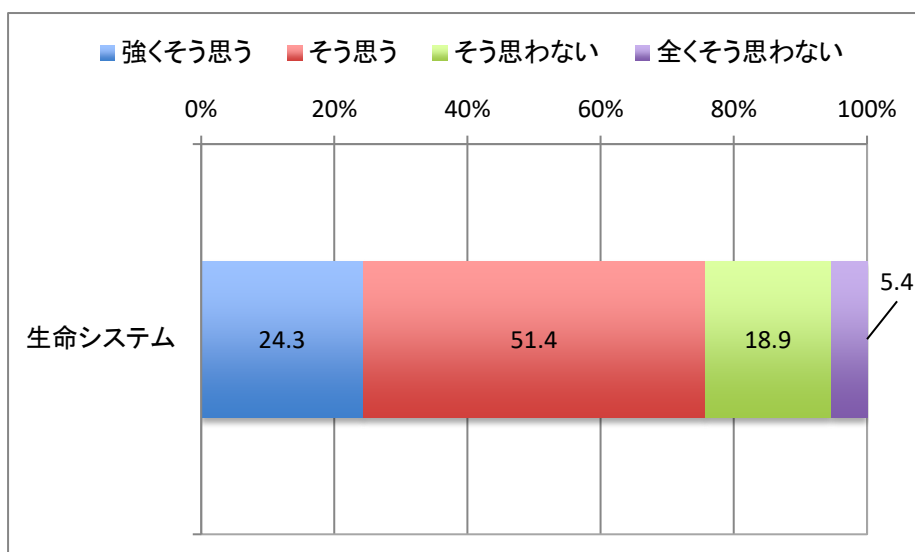
1. あなたの研究室の通信環境は、質・量ともに良好だ。



2. 専攻における研究指導の体制（博士前期：主指導と副指導 1 名、博士後期：主指導と副指導 2 名以上）は現状で十分である。

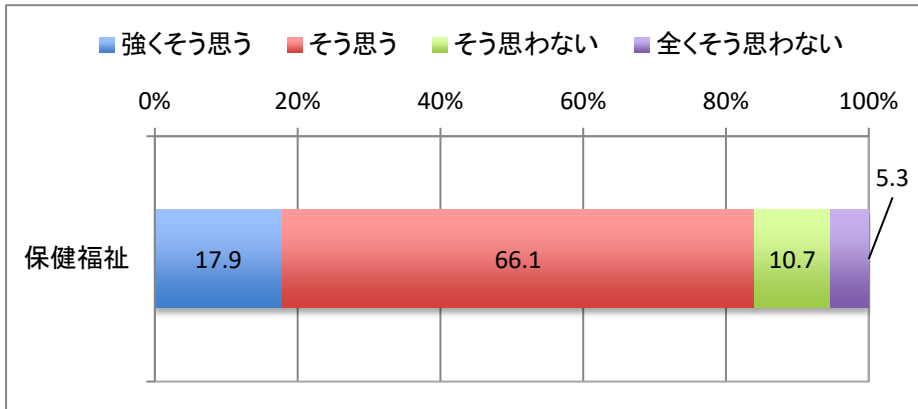


3. 大学院生に対する支援事業[TA/RA、研究活動支援（学会参加等）、TOEIC-IP 受験料補助等]に満足している。

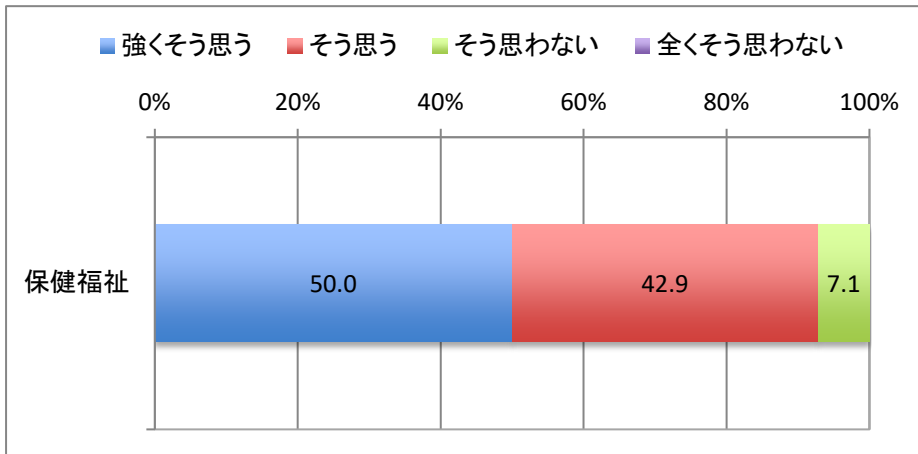


【保健福祉学専攻独自の設問】

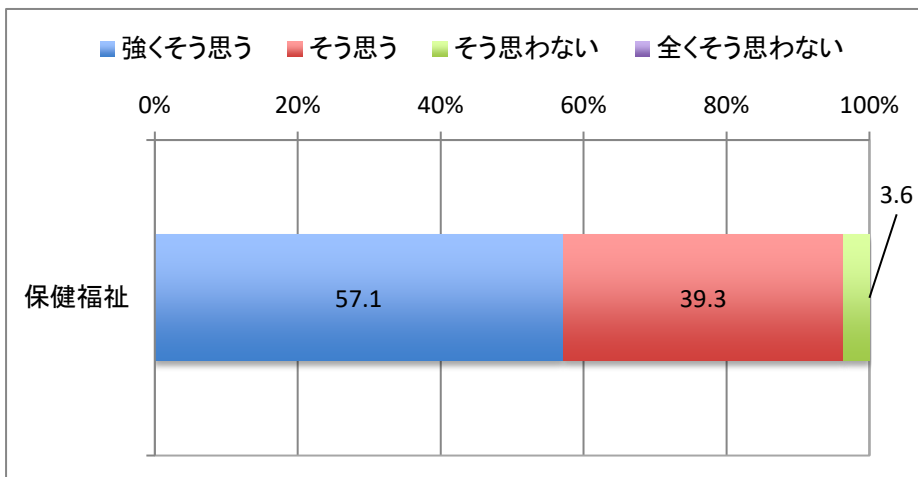
1. 計画通りに学修が進んでいる。



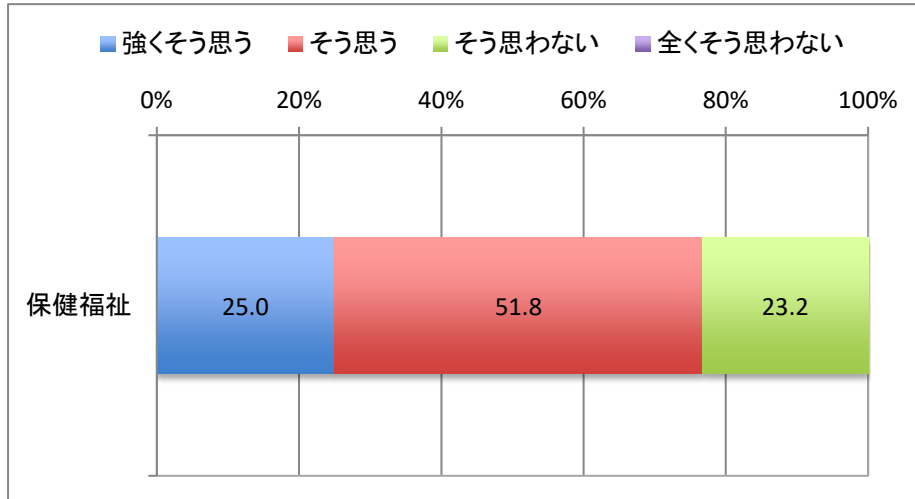
2. 教員は学生の個別の状況に配慮して指導している。



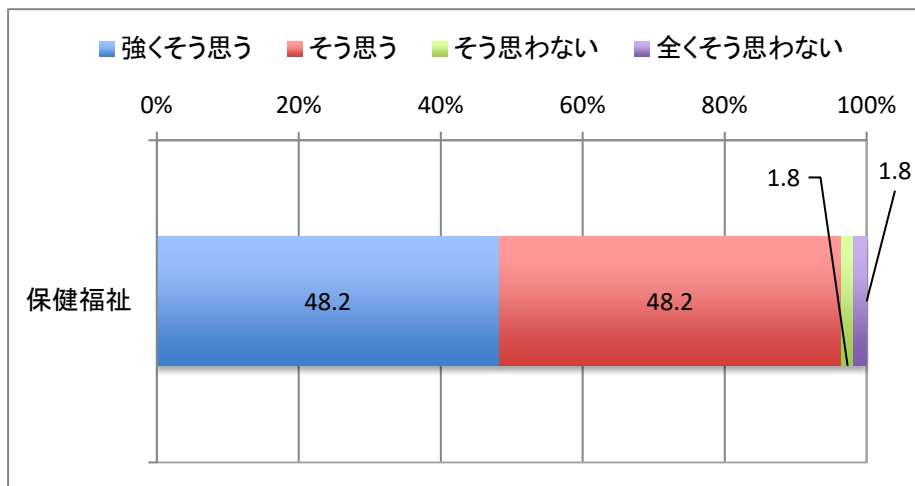
3. 大学院での学修が専門職業人としての成長に役立つ。



4. 大学院での学修はリーダーシップ能力獲得に役立つ。



5. 大学院での学修が保健医療福祉の専門職、あるいは教員としての研究能力向上に役立っている。



6. 大学院生に対する支援事業【TA・RA、研究支援活動支援（学会参加等）】に満足している。

